

新型コロナウイルス感染症感染拡大
防止策における中小企業・小規模事
業者支援に関する緊急要望書の回答

令和2年6月11日

黒石市

黒石市に対する要望事項一覧
(新型コロナウイルス感染症関連緊急要望書)
【 黒石商工会議所 ⇒ 黒石市 】

要 望 事 項		担 当 課
1	感染症情報の一元化と速やかな情報提供について	新型コロナウイルス感染症対策室
2	マスク・消毒液の安定的な確保とクラスター発生が予想される施設への早急な提供について	新型コロナウイルス感染症対策室
3	事業継続の意欲を今後も持ち続けてもらえるような支援策について	商工課
4	小中学校の臨時休校等に対応した遠隔授業の導入について	学校教育課

様式 1

要望事項	1 感染症情報の一元化と速やかな情報提供について
------	--------------------------

担当課・機関名	新型コロナウイルス感染症対策室
---------	-----------------

要望事項の内容

市民が社会生活に混乱をきたさないよう公共施設の利用制限や感染情報の一元化を要望いたします。また、今後実施される経済対策など事業者にとって有益となる情報についても速やかなる提供を要望いたします。

要望事項に対する回答

市で有する公共施設の利用制限等について広報くろいし及び市ホームページで公表してまいります。今後も状況の変化に応じて利用制限等の内容が変更となる場合は随時情報の更新を行ってまいります。

感染情報については、県がホームページで情報を公開しているため、市のホームページからも県の感染情報を随時確認できるよう対応しております。

経済対策などの情報についても広報くろいし及び市ホームページで情報提供を行ってまいります。今後新たな施策を行う場合も迅速な情報提供を心掛けてまいります。

様式 1

要望事項 2 マスク・消毒液の安定的な確保とクラスター発生が予想される施設への早急な提供について

担当課・機関名 新型コロナウイルス感染症対策室

要望事項の内容

マスク・消毒液の安定的な確保とクラスター発生が予想される施設（学校・福祉施設・病院など）への早急な提供を要望いたします。

要望事項に対する回答

マスクについて市では各施設の必要数を調査しました。貴会議所会員企業はじめ市で寄贈を受けたマスクもありますが、調査した必要数には不足している状況です。社会的供給体制も整いつつありますが十分ではない現状ですので、マスクの提供については施設の属性に応じて優先度をつけ順次対応してまいります。

先般、調査した必要数の一部ですがマスクの配布を行いました。大人用・子供用合わせて、計22,387枚（うち小中学校1,940枚、福祉施設8,058枚、医療機関5,100枚）です。

今後も大規模な流行に備え、順次必要数の確保に努めてまいります。

消毒液についても社会的供給体制が需要に追い付いていない状況であり、市の備蓄にも限界があります。しかし、ご指摘の施設はじめ各施設で十分な衛生管理が求められる状況ですので、手洗い・咳エチケットの奨励などと並行しながら必要量の確保に努めてまいります。

様式1

要望事項 3 事業継続の意欲を今後も持ち続けてもらえるような支援策について

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

感染拡大により、大きな影響を受ける事業者に対して、国では持続化給付金、県では感染拡大防止協力金、当市では事業継続緊急支援金など支援策が展開されています。しかし、どの支援策にも該当しない事業者もあるため、事業継続の意欲を今後も持ち続けてもらえるような支援策を要望いたします。

要望事項に対する回答

5月1日、市は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業に要する経費を専決処分し、以下の事業を緊急的・優先的に進めております。

まず、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の事業者のうち、令和2年4月に青森県が行った「新型コロナウイルス感染症に伴う影響調査」の結果をもとに、売上高の減少が顕著であった小売業、宿泊業、飲食業、及びそれら業種との関連性が高いタクシー（ハイヤー）業、運転代行業を対象に、事業の維持又は継続のための緊急支援金を交付するとこととしました。

緊急支援金は、5月18日から交付申請の受付を開始し、交付要綱に定める全ての要件を満たす申請者に対して順次速やかに、1店舗当たり10万円、合計60,000千円の緊急支援金を交付する手続きを行い、申請者の手元に一日でも早く届くよう努めております。6月10日現在の申請件数266件のうち、201件に交付決定し、合計20,100千円を交付手続き済みです。

次に、貴会議所が実施主体となる「黒石エール飯支援事業」、「仮想商店街（バーチャルモール）プロジェクト事業」への補助金として合計3,256千円を支出する予定のほか、旅館・ホテル等への令和2年度課税固定資産税のうち事業用家屋及び償却資産を全額免除しました。

また、特に影響を受けている市内飲食業を盛り立てるため、市内飲食店等で使用できる商品券として、1世帯当たり3,000円分、合計42,000千円分の黒石グルメ券を全世帯に配布し、地域を上げて消費の喚起を促す事業も進めております。黒石グルメ券は6月中旬に発送し、黒石グルメ券取扱店舗として登録していただいた飲食店等の店舗で、6月下旬から12月下旬までの間、黒石グルメ券を使用することができます。

さらに、市では、6月市議会への追加補正予算として、新型コロナウイルス感染症の影響が多岐に生じていることや、消費動向が鈍化している現状、また緊急支援金の拡充を要望する事業者からの声もございますので、緊急支援金の交付対象業種を大幅に拡大し、合計50,000千円を追加する予定としており、これにより、さらに多くの事業者の方への支援ができるものと考えております。

また、黒石高校及び黒石商業高校の3年生で就職を希望する生徒を対象に、新型コロナウイルス感染症の影響により中止された各種企業説明会の代替えとして、市内企業の採用担当者による3密防止対策を講じたオンライン企業説明会の開催費用1,628千円を計上し、これにより、新規学卒者の就業支援と市内企業への理解を深める場を設け、雇用の創出につなげたいと考えております。

今後も、貴会議所との協働を進めながら、市として出来る限りの支援策を講じてまいる所存です。

様式 1

要望事項 4 小中学校の臨時休校等に対応した遠隔授業の導入について

担当課・機関名 学校教育課

要望事項の内容

小中学校の臨時休校が実施され、自宅などで待機している児童生徒の精神的ケアや学習支援が課題として取り上げられるようになりました。今後も感染拡大となった場合、再度臨時休校せざるを得ない状況も予想されるため、3密を防ぐ方法としての遠隔授業導入について要望いたします。

要望事項に対する回答

小・中学校の遠隔授業については、個々の家庭の事情に合わせた通信機器や通信料等の支援が必要となることが予想され、その費用面も含めた当該支援のための制度設計が必要と考えております。

市では、国のGIGAスクール構想に基づく補助金を活用し、令和2年度において全小中学校の情報通信ネットワーク(WiFi)環境を整備するとともに、令和3年度から令和5年度までの計画で「児童生徒1人1台」の端末整備を実施することとしていました。しかし、国では、全国の「児童生徒1人1台」端末整備の早期実現のため、令和2年度補正予算に、当該整備に係る全ての経費を前倒しして計上したところです。

このことから、市においても当初計画を前倒しし、令和2年度において、本市の全ての児童生徒に対する端末整備を行うことにより、遠隔授業の実施も見据えた、ICT教育の充実を図るための環境整備を進めてまいります。